

東京2020大会がもたらした価値

東京2020オリンピック

(7月23日～8月8日・33競技339種目)

過去最多と並ぶ**205**の国・地域と難民選手団
合わせて選手約**1万1,000**人が参加

世界新記録が26個誕生

※ボートの世界ベスト6種目を含む

性的マイノリティー（**LGBTQ**）であることを明かして参加する選手の数が、

過去最多の**186**人に(2016年リオ大会の3倍)

過去最多の**総メダル58**個を獲得

(これまでの最多は2016年リオ大会の41個)

東京2020パラリンピック

(8月24日～9月5日・22競技539種目)

リオ大会を上回る**161**の国・地域と難民選手団
合わせて選手約**4,400**人が参加(選手数過去最多)

世界新記録が158個誕生

過去最多の**36**人に(2016年リオ大会の3倍)

過去**2番目**の**総メダル51**個を獲得

(過去最多は2004年アテネ大会の52個)

コロナによって分断された世界を、スポーツの力で一つにした大会

世界中から
アスリートが参加

高いパフォーマンスを
発揮

史上最も多様性
あふれる大会

日本選手団の
活躍

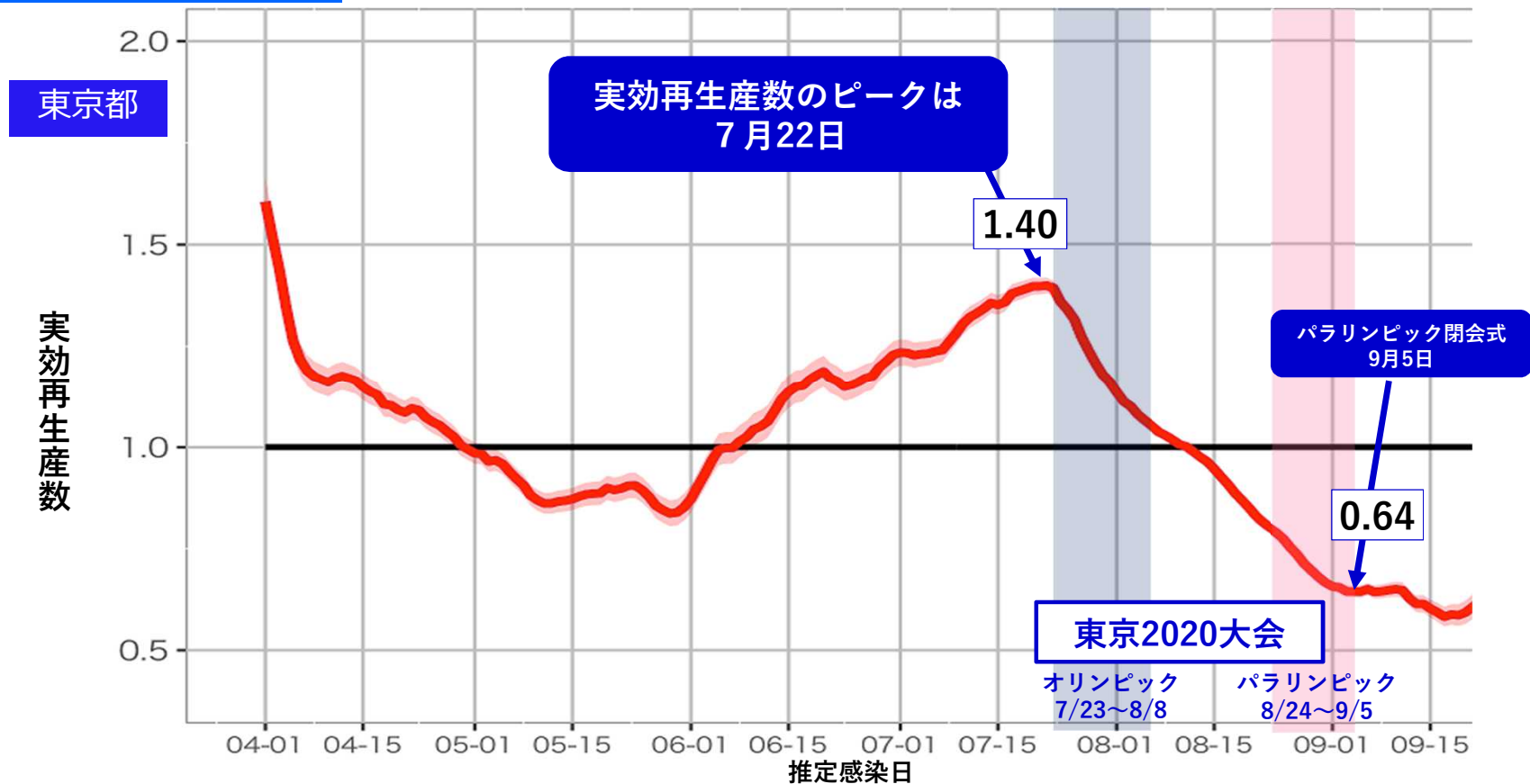
安全・安心な大会開催

| | | 大会前の試算 | 実績 |
|-------------------------|----------------------------|------------------------------|---|
| アスリート 大会関係者 の陽性状況 | 空港検疫検査 (7/1~9/8) | 大会前の 陽性率想定：0.2% | 陽性率：0.10% 55人(陽性者数)/54,250件(検査数) |
| | スクリーニング 検査 (7/1~9/8) | 繁華街等の スクリーニング 陽性率：0.1% | 陽性率：0.03% 299人(陽性者数)/1,014,170件(検査数) |
| アスリート 大会関係者 の療養状況 | 都内医療機関 (入院) | 大会前の想定 (ピーク時)：8.5人 | 入院者数(ピーク時)：2人 (重症者：0人) (訪日大会関係者) ※ 大会指定病院へ入院 |
| | 都内宿泊療養施設 | 大会前の想定 (ピーク時)：44.6人 | 入所者数(ピーク時)：49人 (訪日大会関係者) ※ 大会用に組織委が300室を準備 余剰の部屋は都民に活用 |

海外からのアスリート・大会関係者の陽性率等は当初想定を下回る水準

安全・安心な大会開催

実効再生産数の推移 (厚生労働省アドバイザリーボード (11月17日会議資料) より)



※10月31日時点の数値

※実効再生産数：ある時点において1人の感染者が感染させる人数の平均値 (1以上で増加傾向、1未満で減少傾向)

東京の実効再生産数は7月22日をピークに下落傾向へ